

鳥取縣公報

第四百五十一號

昭和八年九月一日

金曜日

告示

◇鳥取縣告示第三百五十八號

縣ハ大正六年五月二十六日訓令第十七號ヲ以テ農事改良組合ノ設置ニ關スル訓令ヲ發シ之ガ設置普及ヲ獎勵シ爾來年ヲ閱スルコト十七年、設置組合數實ニ一千三百八十有餘ノ多數ニ達シ斯業ノ改良發達ニ資セリ

翻テ農村ノ疲弊ハ比年重積シ今ヤ困憊其ノ極ニ達シ之ガ匡救ハ頗ル緊切ヲ極ム、然ルニ農村疲弊ノ招來セル素因ハ輓近内外經濟界ノ異常ナル不況ニ職由スルノミナラス深ク農村經濟ノ運営及ビ組織ノ根底ニ横ハルヲ以テ之ガ匡救ハ單ニ應急的施設ノミヲ以テハ能クシ得ル所ニ非ズ

之ガ打開ハ須ラク農村部落ニ於ケル固有ノ美風タル隣保共助ノ精神ヲ基調トシ部落ノ自主的活動ヲ促シ產業及ビ經濟ノ計畫的組織の刷新ニ俟タザルベカラズ

之レ部落ヲ單位トスル實行團體ノ整備振作ヲ急務トスル所以ニシテ部落實行團體ノ統一ヲ圖リテ部

00319

落員ノ融和親善ヲ厚ウシ協力一致自力更生ノ運動ニ邁進スルヲ以テ先決ノ要事トナス
 殊ニ組合活動ノ範圍ガ單ナル農業生産ノ改良ニ留ラズ之ガ領域ニ經濟的社會的使命ヲ加ヘ自主的團
 体タラシムルト共ニ市町村、市町村農會、產業組合等ノ基礎團體トシテ諸種ノ施設ヲ統制消化セシ
 ムルコトハ極メテ緊要ナル施設ナリト信ズ、就中客歲產業組合法ノ改正ニヨリ部落ヲ單位トスル農
 家七人以上ヲ以テ組織スル農事實行組合ノ加入ヲ認メラレタルガ如キ亦以テ農村經濟ノ機構トシテ
 之レニ負託スル所大ナルモノアルヲ察セズンバアラズ
 仍テ縣ハ茲ニ大正六年訓令ニヨル農事改良組合設置標準ヲ廢シ新ニ左ノ通農事實行組合同約準則ヲ
 制定シ之ヲ獎勵スルコトトセリ
 指導督勵ノ任ニアルモノ宜シク地方ノ實情ニ鑑ミ當業者ヲ勸奨シ組合ノ成立ニ努ムルト共ニ之ガ振
 興ヲ圖ルベシ

昭和八年九月一日

鳥取縣知事

館

首

二

何々農事實行組合同約準則

第一章 總

則

則

00320

- 第一條 本組合ハ組合員ノ共同ノ福利ヲ増進スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本組合ハ何々農事實行組合ト稱シ事務所ヲ何市何町何大字何(部落何)ニ置ク
- 第三條 本組合ハ何村(町)大字何(部落何)ニ居住スル農業者ヲ以テ組織ス
- 第四條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

○調査研究品評會等ニ關スル事業

講習講話會、研究會品評會、競技會開催并各種調査、試験及研究等

○農事ニ關スル事業

米其ノ他農作物ノ改良増殖、共同經營及農業經營改善
 採種圃ノ經營、苗代其ノ他苗圃ノ經營、共同田植、病蟲害ノ共同防除、自給肥料ノ改良
 増産、肥料ノ共同配給、經濟記帳ノ實行等

○家畜ニ關スル事業

家畜ノ改良利用及共同經營

共同飼蹄、採草地及牧場ノ經營、種畜種禽種蜂ノ設置、共同育雛、共同埋菟等

○林業ニ關スル事業

00321

木炭ノ改良、木材ノ販路擴張等

○副業ニ關スル事業

農林產物共同加工及製造、宅地利用等

○共同設備ノ利用ニ關スル事業

作業場ノ設備、農具機械ノ設備、簡易火力乾燥室ノ設置、加工場ノ設備、集荷場貯藏所ノ設置等

○斡旋ニ關スル事業

共同購入、共同販賣

種苗肥料飼料農具農用藥劑副業原料ノ共同購入、生活用品ノ共同購入
生產品ノ共同出荷共同販賣等

○金融ニ關スル事業

規約貯金、家産造成、産業資金ノ蓄積融通、救濟基金ノ積立、負債整理計劃ノ實施、自作農創定、堆肥舍講、牛講其ノ他講、共同納稅等

○社會的施設ニ關スル事業

生活改善

共同法要、冠婚葬祭具共同設備、託兒所、共同浴場、改良便所ノ設置、罹災救助、冠婚葬祭集會招客贈答ノ改善、台所改善服裝ノ改善、保健衛生娛樂施設等

社會教化

敬神崇祖、敬老會、修養會、讀書會ノ設置、地主小作ノ融和親善、風紀ノ改善、社會教育施設、婦人ノ農業知識ノ啓發、婦德ノ向上等

○其ノ他前各號ノ外組合ノ目的ヲ達スル爲必要ナル事業

第五條 本組合ハ市(町村)並市(町村)農會産業組合町村經濟更生委員及社會教育委員ノ指導ヲ承クルモノトス

第六條 本組合ハ何々産業組合ノ組合員タルモノトス

第七條 本組合ガ組合財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テハ組合員ハ連帶ノ責任ヲ負擔ス

第八條 本組合ノ告示ハ組合ノ揭示場ニ揭示ス

第二章 加入及脱退

00322

00323

第九條 組合員タラントスル者ハ組合員何名以上ノ推薦ヲ以テ加入申込書ヲ組合長ニ提出スベシ

組合長前項ノ申込書ヲ受ケタルトキハ諾否ヲ決シ其ノ旨ヲ申込人ニ通知スルモノトス

第十條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ二箇月前ニ書面ヲ以テ其ノ旨組合長ニ豫告スベシ

第十一條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

一 本組合ノ規約ニ違背シタルトキ

二 本組合ノ業務ヲ妨グル所爲アリタルトキ

三 犯罪其ノ他不正ノ行爲ニ依リ本組合ノ信用ヲ毀損シタルトキ

組合前項ノ規定ニ依リ除名シタルトキハ其ノ旨ヲ本人ニ通知ス

第三章 事業ノ執行

第十二條 本組合ノ事業年度ハ何月何日ニ始マリ何月何日ニ終ル(一年以内ニ於テ適宜定ムルコト)

第十三條 本組合ハ事業執行上調査係、農事係、畜産係、林業係、副業係、利用係、斡旋係、金

00324

融係及社會係(必要ニ應ジ適宜定ムルコト)ヲ設置シ各係ニ係長一名、係何名ヲ置ク各係長ハ理事ヲ以テ之ニ充ツ

第十四條 本組合ノ事業執行ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第十五條 本組合ハ毎年總會ニ於テ議決シタル範圍内ニ於テ手数料又ハ使用料ヲ徴收スルコトヲ得

第四章 役員

第十六條 本組合ニ理事何名ヲ置ク

理事ハ組合長一名、副組合長一名ヲ互選ス

第十七條 組合長ハ組合ノ業務ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

組合長、副組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル

第十八條 理事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第十九條 理事ノ任期ハ三年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十條 理事ハ總テ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得
第二十一條 組合ハ組合規約、總會ノ決議録、會計簿、經費豫算書、決算書、財産台帳、組合員名簿、役員名簿、日誌、往復文書綴及事業關係書類ヲ事務所ニ備ヘ置クモノトス

第二十二條 本組合ハ總會ノ決議ヲ經テ幹事ヲ設置ス

第五章 會 議

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開ク

臨時總會ハ必要ニ應ジ之ヲ開ク

第二十四條 本規約ニ定ムルモノノ外左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 組合事業ノ選定及事業施行ニ關スル方法
- 二 經費ノ收支豫算
- 三 組合財産ノ處分
- 四 組合費ノ分賦收入方法
- 五 借入金

六 規約ノ變更

七 産業組合ヘノ加入又ハ脱退

八 組合ノ解散

九 其ノ他重要ナル事項

第二十五條 總會ノ決議ハ組合員半數以上出席シ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ組合員ノ除名、役員ノ選任及解任、規約ノ變更、産業組合ヘノ加入又ハ脱退、組合ノ解散並組合費ニ關スル決議ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十六條 理事ハ事業報告經費ノ收支決算剩餘金ノ處分及財産目錄ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第二十七條 總會ノ招集ハ少クモ二日前迄ニ日時場所及會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 總會ノ議長ハ組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

00327

第二十九條 組合員ハ代理又ハ書面ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

第三十條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、議決シタル事項、組合員數、出席者ノ員數其ノ他會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス
決議録ニハ議長及出席者二名以上之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

第六章 會計資産及損失分擔

第三十一條 本組合ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 組合費
- 二 手数料又ハ使用料
- 三 補助金又ハ寄附金
- 四 事業收益金
- 五 雜收入
- 六 其ノ他收入

第三十二條 本組合ニ餘裕金アルトキハ何々産業組合ニ預ケ入レ又ハ郵便貯金ト爲スモノトス

00328

第三十三條 組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於ケル各組合員間ノ損失分擔ノ割合ハ最近ノ組合費負擔ノ割合ニ應スルモノトス
第三十四條 組合財産ノ管理及會計ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第七章 解散

第三十五條 組合解散シタルトキハ理事清算人ト爲ル

第三十六條 清算ノ結果生シタル殘餘財産ハ最近ノ組合費負擔ノ割合ニ應ジ各組合員ニ歸屬ス

第八章 附則

第三十七條 本組合設立當時ノ理事ヲ定ムルコト左ノ如シ

但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事	何	某
同	同	同

(既設農事改良組合同規約ヲ變更シ本規約ヲ制定ノ場合ハ本條ハ削除シテ差支ナシ)
第三十八條 組合ノ區域事務所所在地、組合員數、組合長、副組合長、理事數ニ變更アリタルトキ及毎年度ノ組合收支豫算決算ハ之ヲ市(町村)農會長ニ報告スルモノトス

組合解散シタルトキ亦同ジ

第三十九條 本組合員ハ本規約ヲ遵守シ其ノ實行ヲ誓約スルモノトス

昭和何年何月何日本規約ヲ作成ス

(組合員) 何郡何町大字何番地

何 某 印

同 何番地

同 同 印

(組合新設ノ場合ハ設立者トシ既設組合ニアリテハ組合員トスルコト)

◆鳥取縣告示第三百五十九號

昭和八年八月縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和八年度鳥取縣歲入歲出追加豫算並同年度慈惠救濟金歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ通

昭和八年九月一日

鳥取縣知事 館 哲 二

昭和八年度鳥取縣歲入歲出追加豫算

歲	入	出
經	常	部
部	部	
第十二款	雜	收
第六項	過	年
歲入經常部計	度	收
	入	入
	九〇〇	〇
	九〇〇	〇
	九〇〇	〇
臨時部		
第二款	國	庫
	補	助
	金	
第三項	勸	業
	費	補
	助	金
歲入臨時部計		
	一、一四三	
	一、一四三	
歲入合計		
	二、〇四三	

經常部

第九款 勸業費

一、一四三

第十三項 產業獎勵費

一、一四三

歲出經常部計

二、一四三

臨時部

第九款 勸業補助費

九〇〇

第一項 勸業補助費

九〇〇

歲出臨時部計

九〇〇

歲出合計

二、〇四三

昭和八年度慈惠救濟金歲入歲出追加豫算

歲入

第一款 慈惠救濟金

三九、五二〇^円

第三項 國庫交付金

三八、〇〇〇

第五項 寄付金

一、五二〇

歲出

第一款 慈惠救濟金

三九、五二〇

第一項 慈惠救濟費

三九、五二〇